

全固体電池に関する粉体工学的アプローチ： 電極緻密化のDEMシミュレーションと固体電解質の合成

開催日 2026年

7月24日(金)

15:00~16:30

受付開始14:30~



講師 **大崎 修司 先生**
(大阪公立大学 大学院工学研究科
化学工学分野 装置工学グループ 准教授)

全固体電池の実用化および高性能化において、イオン伝導度を向上させるための電極層の緻密化と、それに適した高品質な固体電解質粒子の開発は極めて重要な課題である。本講演では、はじめに離散要素法（DEM）を用いたシミュレーションにより、電極作製時の圧縮プロセスをモデル化し、電極層が緻密化する過程における粒子群の力学的挙動や内部構造の変化を解析した結果を紹介する。さらに、全固体電池の性能向上に向けた固体電解質粒子の合成手法について、粉体工学的視点から紹介する。DEM計算（シミュレーション）と粒子合成（実験）の双方のアプローチから、電極製造プロセスにおける粉体挙動について議論する。

主催：大阪公立大学全固体電池研究所

共催：粉体工学会電池製造プロセスに関するワークショップ

後援：SSコアリション推進室イノベーションWG

申込締切 2026年7月22日(水)

参加申込フォーム

<https://forms.gle/7u9TKBJXoBjHGWPZ9>



参加無料

Zoomによる
ハイブリッド開催

Zoom

ミーティングID：983 5545 1778 パスコード：180242

会場 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス
A12棟

最寄り駅：南海高野線「白鷺駅」徒歩約7分

南海高野線「中百舌鳥駅」徒歩約13分 他



お問い合わせ

大阪公立大学 全固体電池研究拠点
(学術共同研究拠点事務局)

Mail: gr-knky-assb@omu.ac.jp



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University